1. Course Description

本授業は講義形式にて行われ、前半は「足関節と足部の運動」「体幹と脊柱の運動」「運動発達」「運動学習」についての講義、後半は運動学全範囲の演習問題と解説を行います。
とくに後半では、国家試験過去問題を中心とした演習問題に取り組み、国家試験問題出題傾向の把握および弱点の洗い出しを行います。さらに、応用問題にも取り組み、周辺知識の整理と幅広い知識の修得を目指し、国家試験に向け運動学の総括を行います。
この授業では主にディプロマポリシー1に関する知識の修得を目指します。

2. Course Objectives

本授業の目標は、国家試験に対応できる能力を身につけることです。

具体的には、以下の点を到達目標とします。

- ①運動の表し方・身体運動と力学について、正しく理解できる。
- ②運動器・神経の構造と機能について、正しく理解できる。
- ③反射運動と随意運動について、正しく理解できる。
- ④四肢と体幹の運動について、正しく理解できる。
- ⑤姿勢・歩行について、正しく理解できる。
- ⑥運動発達・運動学習について、正しく理解できる。

また、授業時の質問に対してグループディスカッションやペアワークを行うことにより、プレゼンテーション能力を身につけます。

3. Grading Policy

①授業内課題(15%)、②期末の筆記試験(85%)

①、②の合計点で60点以上を合格とします。

中間アンケートの結果をもとに、全体に対するフィードバックを行います。

4. Textbook and Reference

Textbook

テキスト『運動学 改訂第3版』(社)全国柔道整復学校協会 監修 齊藤 宏 著 医歯薬出版 2013年

5. Requirements(Assignments)

内容が多岐にわたるため、必ず予習・復習を行ってください。

予め、各回の授業前には1.5時間程、次回授業予定の対応する教科書のページを読み、キーワードの意味を調べてください。また課題が出された場合は、必ず前以て問題を解いてから出席するようにしてください。

授業後には復習として1.5時間程、授業内容について教科書を見ずに解答できるように、繰り返し復習をしてください。

6. Note

7. Schedule

[1]	オリエンテーション
[2]	足関節と足部の運動(骨格、足部のアーチ)
[3]	足関節と足部の運動(筋)
[4]	体幹と脊柱の運動(骨格)
[5]	体幹と脊柱の運動(筋)
[6]	乳幼児期の運動発達
[7]	運動学習
[8]	運動の表し方・身体運動と力学についての復習と演習
[9]	運動器・神経の構造と機能についての復習と演習
[10]	反射運動と随意運動についての復習と演習
[11]	上肢の運動についての復習と演習
[12]	下肢および体幹の運動についての復習と演習
[13]	姿勢・歩行についての復習と演習
[14]	運動発達・運動学習についての復習と演習
[15]	試験とまとめ
- ※上記の内容を中心に構成しますが、時間(時限)の配分は適宜調整しながら進めます。